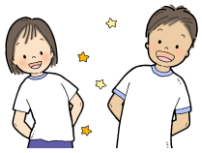

相ノ木っ子だより

平成３０年度
学校だより
１１　月　号
上市町立相ノ木小学校

少年、少女よ、大志を抱け！

「校長先生、髪の毛に何かつけとる？」「ムースだよ。どうして？」「ぼく、美容師になりたいんだ」
朝の何気ない会話を通して、４年生の子が描いている夢を知ることができました。また、ある日のいきいきタイムでは、「校長先生、何周走ったん？」「２周だよ」「ぼく、５周」「すごいね」「サッカーやっとるから」「将来サッカー選手になりたいの？」「それもいいけど、かつ丼屋」「どうして？」「かつ丼好きだから」「でもそれじゃ、自分で食べてしまって商売にならんね」そんなやり取りを３年生の子としました。
子供たちの中には、上記のように漠然としながらも夢をもっている子がいます。しかし、夢がおぼろげだったり、夢を描くことができなかったりする子の方が多いことでしょう。子供ですから、それはそれで仕方のないことです。でも、自分の将来に思いを馳せることは、とても素敵なことですし、何かしらの憧れや理想をもってほしいものです。そして、子供たちには、夢を抱きつつも次のように生きていってもらいたいです。

急に理想の自分になろうとせず、
今の自分にできることをすればいい。
今の自分をちゃんと受け止めてあげること。
今の自分がきらいという気持ちをもたないことです。

これは、心理療法士の星一郎氏の言葉です。理想とする自分の姿を思い描きながらも、近づけないことに焦ったり、落ち込んだりする必要はないのです。今の自分を好きになること、今の自分がしたいことを大切にし、着実な歩みで生きていくことが大事なのではないでしょうか。そして、理想の自分と現在の自分を確認したり、夢や憧れを変えたりしながら、やがて明確な自分の進路を決めていくのでしょう。ですから、子供たちには今のうちに「大志」のある夢をもってほしいです。
「少年よ、大志を抱け」は、有名なクラーク博士の言葉ですが、次のように付け加えられています。

少年よ、大志を抱け。
それはお金のためではなく、自己の利益に対してでもなく、
また世の人が名声と呼ぶあのむなしいもののためでもない。
人はいかにあるべきか、その道を全うするために、
少年よ、大志を抱け。

子供たちの夢には、「〇〇が好きだから」「憧れるから」「お金が稼げるから」「有名になれるから」など、それぞれの理由があるでしょう。もちろん人間ですから、自分のお金や利益、名声が大事です。でも、金銭にとらわれたり、自分の利益だけを考えたりするのではなく、人間としてあるべき姿を実現するために大志を抱いてほしいとクラーク博士は願っているのです。子供たちには、夢や希望をもって自分の道にひたすら汗を流し、人間としてあるべき姿を求めながら生きている人のすばらしさを知ってほしいです。

相ノ木の少年、少女よ、人としての誇りを胸に、大志を抱け！

心をこめて伝えよう

「ころ、ころ、ころ、ころ」「Everybody say!」「めでたし、めでたし」
体育館に子供たちの元気な声やきれいな合奏の音が響いています。学習発表会に向けて一生懸命練習に取り組んでいる様子です。間近に迫っている本番は、観ている方に思いを届けようと精一杯の表現をすることでしょう。それぞれの学年の発表をぜひ楽しみにしていてください。
先月、挨拶について書きましたが、ここ最近子供たちは自然に挨拶を交わすようになってきた気がします。無理のない、相手へのさり気ない挨拶に、心の成長を感じます。また、２学期より昼の校内放送をテレビ放送でしています。これまで、音声のみの放送では早口になりがちで、内容がしっかり伝わってこないことがありました。テレビ放送にしてからは、カメラをしっかりと見て、表情や手振り等も付けながらゆっくりと話しています。カメラの向こうの友達を意識しながら、楽しい放送にしようとする工夫も見られ、とても表現力が高まっています。やはり心をこめて伝えてこそ、その人の素敵な表現となるのでしょう。

やさしいことは強いのよ

先月の就学時健診の時でした。班を引き連れ、来入児のお世話をしていた５年生の子が、階段で躓きそうになったのを見かけました。「お世話をしている５年生がけがしてしまったら、しゃれにならんよ」「えへへへ」「来入児がけがせんように、しっかり見てあげてね」「はい」そう答え、その後もしっかりと来入児のお世話をしていました。また、５年生は皆、来年入ってくる子たちにとても優しく接していました。来年度の６年生と１年生の素敵な関わりを見て、安心することができました。

しかし、とかく子供たちは、同級生同士だと言い合い等のトラブルが起こりがちです。そこには、ずっとこれまで一緒に過ごしてきた積み重ねや因縁のようなものがあるからでしょう。自分の気持ちが荒れてくると、「死ね」「くそ」といった言葉を相手に投げかけることもあります。また、「死」や「傷付く」といったことにも無頓着だったりします。それらは、ゲームの世界といったものの影響があるかもしれません。「リセットすれば人はまた蘇ることができる」とでも思っているかのようです。でも、ゲームと現実は違います。自分や相手のことをもっと大切に考えないと、とんでもないことが起きるのです。

子供たちは、自分と幾分年の離れた子には、やさしい気持ちをもつことができます。自分の責任感からかもしれませんが、就学時健診での５年生の姿は、そんなやさしさに溢れたものでした。そういったやさしさが、どの学年でも、誰に対しても見られると素敵です。そして、相ノ木っ子たちのやさしさに溢れた言動がもっともっと感じられるようにしていきたいです。

経営コンサルトで、作家の神田昌典さんは、次のように言っています。

弱きものは、相手を打ち負かし、
強きものは、相手を許す。

神田氏は続けて、「間違いを犯さない人間はいない。罪を糾弾することは簡単だが、本当に難しいことは、罪を許すことである。相手を打ち負かせば、あとは悲しみが残るだけ」とも語っています。

また、ねむの木学園の園長である宮城まり子さんは、次のように言っています。

やさしくね　　やさしくね
やさしいことは強いのよ

友達とけんかになったときに、ついイライラして相手の嫌がることを言ってしまいます。疲れている時や眠い時にもやさしくできないことがあります。いつでもやさしくすることは、けっこう難しいことに気付きます。そして、自分の体の調子や気分に関係なく、いつでも相手の気持ちになってやさしくしようとすると、それに左右されない強さが必要になります。子供たちには、相手を許せる、いつでもやさしくできる、そんな強さを心にもっていてほしいです。

行事予定(11月中旬～12月中旬)

１１月１９日（月）	健康・運動能力向上支援事業（１・２年）
２１日（水）	町音楽会（４年）　相ノ木保育園訪問（５年）
２６日（月）	中学校入学説明会（６年）
	ノーメディア・スタディウイーク（～11/30）
２７日（火）	ミニ駅伝大会
１２月１２日（水）	保護者懇談会①　いのちの教育（５年）　下校 13:30
１３日（木）	保護者懇談会②　相ノ木保育園訪問（５年）　下校 13:30
１４日（金）	保護者懇談会③　下校 13:30